



# SAF Newsletter Vol. 5

SAF 日本事務局 〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー4F TEL:03-5321-6222 <http://www.studyabroadfoundation.org/japan>



## Internship 特集 Vol.1 : 米国インターンシップ留学を実現しよう!

### アメリカン大学のWSPって何?

せっかく留学をするのなら、ワンランク上の留学をしてみたい!と思う学生にぴったりなのが、インターンシップ留学。就職活動を意識して日本でインターンシップを経験する学生は珍しくなくなりましたが、海外の企業や NPO 団体でのインターンシップの経験は、一味も二味も違う大きな財産になります。インターンシップ特集第1回目の今回は、アメリカン大学での WSP(ワシントン・セメスター・プログラム)をご紹介します!

#### 📌 インターンシップのための Tenley Campus @アメリカン大学

アメリカン大学のWSPは、ワシントンD.C.という政治・ビジネスの中心という場所を生かして、大学のクラスを超えて学部生がインターンシップに参加できるプログラムです。約200名の学部生が各セメスターに参加する人気のプログラムで、12 にまたがる分野でインターンシップをすることができます。WSP に参加する学生は、アメリカン大学のメインキャンパスから3ブロック程離れたところにある新しい Tenley キャンパスで勉強しますが、クラブ活動やスポーツ・ジム施設、学食などはアメリカン大学の学生と同じように利用できます。WSP はアメリカン大学でのキャンパスライフと働く経験の両方が得られる留学スタイルです。では、どのようなカリキュラムでしょうか?

#### 📌 WSP カリキュラム

##### ● Seminar(セミナー:8 単位)

1週間に 3 日間、自分の専攻分野に関わる企業や団体のトップの人々を講師として迎え、ディスカッションを行います。教科書やレクチャーでは吸収することができない、実社会における専門分野を勉強します。

##### ● Internship(インターンシップ:4 単位)

セメスター開始の 6~8 週間前、企業/団体情報、仕事内容、住所、電話番号などが載っている、専攻分野のインターン先一覧にアクセスすることができます。セメスター開始後 2 週間で、参加者は興味のある企業/団体へインタビューに行き(平均 3 か所)インターン先を決定します。レジュメ(英文の履歴書)やカバーレターの書き方のアドバイスも受けることができます。

##### ● Research or Elective Course(リサーチ/選択科目:3-4 単位)

インターンシップの経験などを活かしてリサーチプロジェクトを行うか、アメリカン大学の学部の授業を履修し単位を取得することができます。

### 12の専攻分野から選ぶインターンシップ

WSP では次の 13 分野から専攻を決めてセミナーとインターンシップに参加することができます。

専攻分野/内容	主なインターン先
①American Politics(アメリカ政治) 選挙、政策、法律制度などアメリカ政治を学ぶ。	White House などの政治的機関・団体
②Contemporary Islam(現代イスラム) アメリカ政策における現代イスラム問題について学ぶ。	米国外務省やその他の組織・団体
③Economic Policy(経済政策) 経済学の理論を現代実社会にあてはめて学ぶ。	世界銀行、メリルリンチなど
④Foreign Policy(外交政策) 戦争とテロなどのポスト WW II の問題について学ぶ。	各国大使館、UN、アムネスティインターナショナルなど
⑤International Business & Trade* (国際ビジネス・貿易) *中国研修オプション 輸出入、海外投資、政治リスク分析などを学ぶ。	オラクル corp.、各国大使館、米国商務省など
⑥International Environment & Development* (国際環境・開発) *3 週間のブラジル研修 環境問題、開発について発展途上国の現状から学ぶ。	Greenpeace USA、などの世界的な環境保護団体など
⑦International Law and Organizations* (国際法・国際機関) *3 週間の NY、EU 研修 NY 国連本部などを訪問し、国際法・機関について学ぶ。	Campaign for UN Diplomacy などの国際機関、団体
⑧Journalism(ジャーナリズム) 様々なメディアで活躍する要人を通して、ジャーナリズムの基礎・理論を学ぶ。NY へのフィールドトリップあり。	CNN、ABC News、Fox News Network などのメディア
⑨Justice(司法) 民事裁判制度の問題、司法のモラルや哲学、処罰の役割や社会復帰などについて学ぶ。	US Attorney などの司法機関、団体など
⑩Peace & Conflict Resolution* (平和と紛争解決) *ボスニア、クロアチア、セルビアでのフィールドワーク 社会的・政治紛争と平和構築について学ぶ。	Peace Action、Human Right watch などの NGO、NPO
⑪Public Law(一般法) 米国一般法の組織、制定、試行について学ぶ。	米国司法省などの機関、団体
⑫Transforming Communities(変換するコミュニティ) 都市部の社会的・政治的变化を、ワシントンを例に学ぶ。	米国教育省などの機関、NPO、NGO

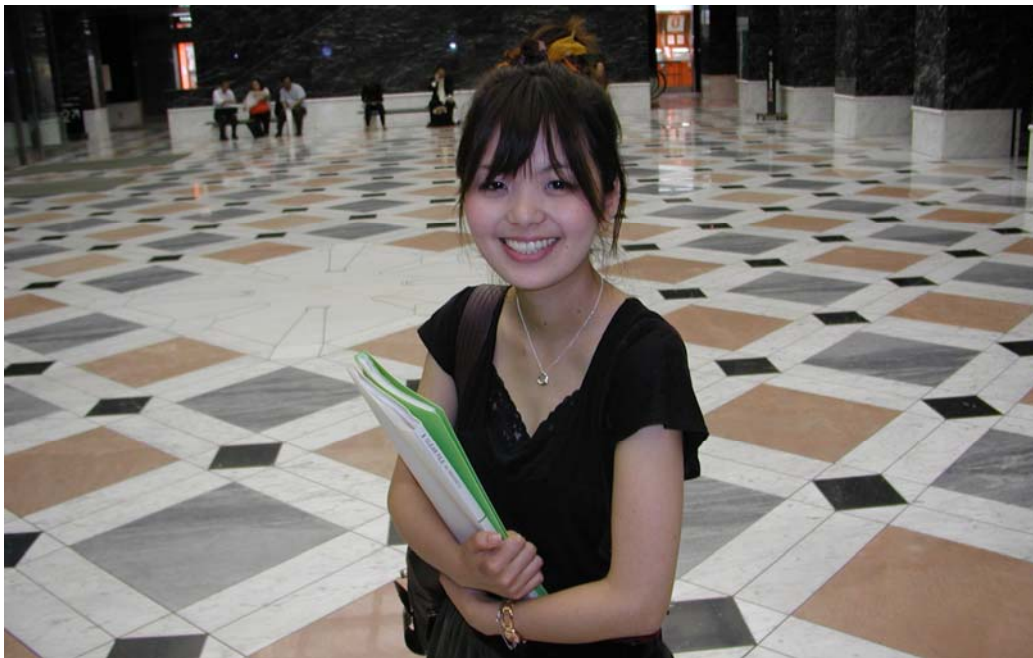
\*海外でのインターンシップ・研修があります。

#### ♣️ アメリカン大学 WSP(ワシントンセメスタープログラム)参加条件 ♣️

TOEFL: iBT-80, CBT-213, PBT-550 GPA: 3.0

英語力に不安がある場合は、英語力強化コースから始めることができます。





東京大学 文学部  
行動文化学科 社会学専修  
3年 南 麻理江さん

【留学期間】約 8 か月  
2008 年 10 月～2009 年 5 月

2008 年 10 月～12 月  
英語力強化コース  
Indiana University

2009 年 1 月～5 月  
授業履修プログラム  
American University  
Communication 専攻

留学って本当に簡単じゃないです。でも、それ全部が自分の血となり肉となっている実感が私にはある。だから多くの人に留学に挑戦してほしいと思う。  
みんなで、この島国に、色んなところから色んな風を吹き込みたいから。

Q: 留学しようと思ったきっかけを教えてください。

A: 中高生の頃からずっとおぼろげながらアメリカへの留学に憧れていました。そしてその思いを一層強めたのは大学に入ってからです。高校生までの生活と比べて桁違いに多くの人と出会い、色々な人と話をするようになって、もつともつと広い世界で色々なバックグラウンドを持った人と話したいと思うようになりました。SAFには大学2年の頃からお世話になり、留学をするのかしないのかという最も根本の段階から丁寧なカウンセリングをしていただきました。挑戦したい気持ちと、不安な気持ちの間で悩んで、悩んで、悩みまくっていたのですが、カウンセリングで私が、「いつも土壇場になるとコンサバティブな決定をしてしまう」と言った時、カウンセラーの菊池さんが「留学は、そんな自分を変える絶好のチャンスだよ」という言葉をかけてくださいました。その言葉が私の決定打になり、大きな世界を見るため、後向きな自分を変えるために留学に挑戦しようと決意しました。

Q: 留学先でチャレンジしたいことは何ですか？

A: 1月から入学するアメリカン大学ではコミュニケーション学を専攻する予定です。日本ではまだまだ馴染みのない学問ですが、興味のある分野なのでこの機会に本場のアメリカでしっかり勉強したいと思います！比較的短期の留学なので、田舎でのんびりというよりは、洗練された大きな都市で生活がしたいと思いました。ミュージアムや演劇鑑賞に行くのが大好きなので、ニューヨークのMOMA、ブロードウェイ、ワシントンDCのスミソニアン博物館、などなど多くの施設が並ぶ東海岸への留学を希望しました。ワシントンDCは治安もよく、気候も比較的日本に近いので生活もしやすいと思い、決断しました！

Q: 留学経験を帰国後どのように活かしたいと考えていますか？

A: 留学は、お金も時間もかかるし、何より気持的に大きなパワーが必要です。そんな大きな挑戦から得られるものは未知数ですが、必ず自分の糧になってくれるだろうと確信しています。ワシントン DC をはじめ、アメリカには様々な人種が混在していますが、それを肌で感じて、その経験を生かして、人種・国境・移民などの今興味のあるテーマを卒論につなげていけたらいいなと考えています。また、大学を卒業してからの夢は具体的にはまだ持っていませんが、留学経験で得られる多様で柔軟なものの見方を生かして、自分と人とのコ

ミュニケーションを大切にしながら、自分以外の人と人をつなげていけるような活動をしたいと考えています。

Q: 留学準備はいつ頃どのように始めましたか？

A: 大学2年の頃からSAFでお世話になり、独学ではありますが英語も少しずつその頃から勉強をし始めました。主に市販のTOEFLの問題集で勉強しました。TOEFLで出願に必要なスコアをとってからは、映画を繰り返し見て英語に触れたり、PODCASTで英語を聞いたりしています。私は東京で一人暮らしをしているので、留学するにあたって、今の家を引き払ったり、ライフラインの手続きをしたりと煩雑なことがたくさんあるのですが、それも大切な留学へのプロセスだと考えています。

Q: 日本では、どのような生活を送っていますか？

A: 現在、大学では社会学を専攻しています。私の所属しているゼミは3、4年生合わせて20人程で、みんなそれぞれ自分の興味があることについての卒論の準備を進めます。(卒論の文字数は何と驚愕の8万字です！)私の卒論のテーマは未定ですが、今は留学での経験が反映されるような卒論が書けるといいなと思っています。1、2年生の時は渋谷のカフェでバイトしていて、そこに来っていた外国人のお客様とのコミュニケーションもすごく留学へのモチベーションにつながりました。留学から日本に戻ってきた時には、問題なく会話ができるようになっていましたように！と思っています。

Q: 最後に、これから留学を目指そうと思っている学生にメッセージを。

A: 留学って本当に簡単じゃないです。周囲が思っているより煩雑な手続きや苦労が山ほどあります。でも、それら全部が自分の血となり肉となっている実感が私にはあります。大変だからこそ得られるものは無限に大きいです。私みたいなどぶりでも挑戦できたので、留学に興味がある人には是非、挑戦してほしいと心から思います。みんなで、この島国に、色んなところから色んな風を吹き込みましょう！！

#### ♣ アメリカン大学での留学パターン ♣

Case1: 英語力強化コース+学部履修プログラム(1年間)\*

Case2: 学部履修プログラム(1学期もしくは1年間)

Case3: 学部履修プログラム+ワシントンセメスタープログラム(1年間)

Case4: ワシントンセメスタープログラム(1学期もしくは1年間)

\*申請 VISA の都合上 2 つの大学をまたぐ場合があります。

WSP のカリキュラム: <http://www.american.edu/washingtonsemester/>